

グランプリ

株式会社 魚の屋 (島根県大田市)

ビジネス部門

- ・国内市場が1%しかない天然わかめの刈りとりを漁師に依頼し、それをもとに新商品開発と販売を実施。
- ・天然わかめの商品売上は約3,200万円から約3.5億円に増加 (H26~30)。天然わかめを刈り取る漁師へ漁期中 (3~5月末) は平均43万円/月の所得をもたらす。
- ・天然わかめの加工処理で、13か所 (75名) の障がい者就労施設に作業を発注。離島 (隠岐の島) に8つの加工場があり地域振興にも貢献。



準グランプリ

コミュニティ部門

北海道立 遠別農業高等学校
(北海道遠別町)

- ・高校生が、国産自給率の低いサフォーク種の羊の飼育・加工・販売までを一貫して実施。
- ・加工品は、ふるさと納税返礼品として取り扱われるほか、ショッピングサイトでも販売。



準グランプリ

上山市温泉クアオルト協議会
(山形県上山市)

- ・自然休養林等を活用した気候性地形療法「クアオルト健康ウォーキング」を専用ガイドを付けて年間360日間実施。
- ・年間約1.4万人のクアオルトウォーキング参加者のうち、毎日ウォーキング参加者は約5,200人 (H30)。



準グランプリ

ビジネス部門

株式会社 山上木工
(北海道津別町)

- ・機械力と職人技の融合により、高品質な木工品を安定的かつ効率的に生産し、国内外で販売。
- ・全国60店舗で販売するほか、仏などへも輸出。家具等木工品の売上は約2億円 (H30)。



準グランプリ

杉本製茶 株式会社
(静岡県島田市)

- ・茶生産農家の所得向上及び後継者確保のため、国内の中小製茶企業に先駆け、輸出事業に着手。
- ・現在は22ヶ国へ輸出を行い、輸出売上高は8,000万円から約5億円に増加。



個人賞

個人部門

上乘 秀雄
(石川県能登町)

- ・故郷の里山を再開発して子どもたちが自然体験や環境学習ができる場を創ろうと、自然体験村「ケロンの小さな村」を創設。
- ・自然体験等の子どもの来村者数は年間4,000人、大人も合わせると5,000人 (H30)。

